

## 2030年の社会を創る新しい学校教育目標

いよいよ平成30年度が始まりました。新しい門出を迎え、期待に胸をふくらませていることと思います。岩倉北小学校の校門の桜も入学式・始業式を待ちきれずに咲き誇っています。

2020年の新学習指導要領の完全実施、本年度からの本格実施を鑑み、新しい学校教育目標を設定いたします。昨年度までの岩倉北小学校の学校教育目標「自らすすんで学び、やさしく行動し、たくましく生きる子どもの育成」は、2009年度に「児童の確かな学力（知）・豊かな心（徳）・健やかな体（体）の育成」を目指して設定されたものです。この2009年度は、

「21世紀を切り拓く心豊かでたくましい児童の育成」をめざし、日本の教育の基準となる現行学習指導要領（2008.3改訂，2011.4 全面実施）への移行期と重なるものです。

平成29年3月に、新学習指導要領（2017.3改訂，2020.4 全面実施）が公示され、子供たちが「生きる」これからの「社会」について、「今の子供たちやこれから誕生する子供たちが、成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想される。生産年齢人口の減少，グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により，社会構造や雇用環境は大きく，また急速に変化しており，予測が困難な時代となっている。」と定義され，2030年にむかって「急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国にあっては，一人一人が持続可能な社会の担い手として，その多様性を原動力とし，質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される。」と示されています。

また，これからの「学校」には，「教育の目的及び目標の達成を目指しつつ，一人一人の児童が，自分のよさや可能性を認識するとともに，あらゆる他者を価値のある存在として尊重し，多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え，豊かな人生を切り拓き，持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」とされています。

さらに，学校の在り方として，「教育課程を通して，これからの時代に求められる教育を実現していくためには，よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し，それぞれの学校において，必要な学習内容をどのように学び，どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら，社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという，社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。」と明示されています。

本校においては，新指導要領への移行措置，新たな3学期制の導入や外国語および道徳の教科化への対応だけでなく，より積極的に岩倉北教育の推進に取組みたいと考えています。その柱として，2030年に生きる子供たち（成人した子供たち）の姿を描き「主体的・対話的で深い学び」の実現，質的な豊かさを伴った持続可能な社会とともに創る担い手の育成を目指し，



# 「自らすすんで学び ともに築き 豊かに生きる 岩倉の子」

を岩倉北小学校の新しい学校教育目標とします。

新しい学校教育目標の実現にむけ、以下の学校づくりをすすめます。

## 1 キャリア教育を柱とした社会に開かれた教育課程の編成

### (1) 社会に開かれた教育課程編成のためのカリキュラム・マネジメントの推進

- ①持続可能な社会の創り手を育む各教科・領域の特性を生かした教育課程の編成
- ②外国語・道徳の教科化に対応した木曜6校時授業の完全実施
- ③タグラグビー部・バレーボール部を新設し、多様な選択ができる部活動の推進

### (2) 6年間の学びの連動を大切にした学校行事の構築と効率化

- ①豊かな学びを支える複数指導体制の強化と実践（運動会・学習発表会）の推進
- ②岩倉北小の伝統を受け継ぐための「3年・6年合同冬季宿泊学習」の実施
- ③課題解決に向けた探究的・協働的な学びをつくる各行事の在り方の検討

### (3) 「岩倉の子」をはぐくむキャリア教育の構築

- ①「好きなことをする」「人のためにする」をモットーとしたキャリア教育の推進
- ②全ての教育活動を通して、「豊かに生きる 岩倉の子」の実現
- ③特別活動を要として、だれもが「顔も名前も知っている」学校づくり

## 2 豊かに生きる岩倉の子をはぐくむ学校づくりの推進

### (1) 創立50年にむけ、「岩倉の子」を地域とともにハグくむ学校づくりの推進

- ①「直向・前向・上向」「一生懸命がかっこいい」の伝統の継承
- ②村松保育園・児童館・まなび教室と連携し「子どもはぐくみ共同体」の構築
- ③創立50周年記念事業にむけ、学校運営協議会と協働した取組の推進

### (2) 質的な豊かさを目指す教育環境づくりの推進

- ①「おはようで今日も始まる岩倉の朝」地域と連携した安心安全の取組の継続
- ②「人」「もの」「時間」の相乗効果が生み出す学校愛の深化
- ③「質」と「効果」を尺度とした学校環境づくり「やってみよう」の推進

### (3) 豊かに生きる教職員を支える働き方の推進

- ①「働き方」は「考え方」, 「時間」「質」「効果」のバランス重視
- ②「働き方」の形づくり, 時間外勤務前年度比20%減を可能にするシステム構築
- ③「ワクワク職場」づくり, 最高の笑顔で子供たちを迎える学校力の強化

これからも岩倉北教育へのご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成30年4月1日 校長 三浦 清孝

